



広島女学院大学
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY

Campus news

とっておき
キャンパスライフ

2017.11.05
AUTUMN
No.190

特集

～地域に根ざす広島女学院大学～

企業や地域との コラボプロジェクト

あなたに伝えたい

1983年卒 越智 裕子さん

キャンパスアルバム

私たちのキャンパスライフ

女学院だより

なるほど就活

vege-full menu

Relay Essay

あなたに伝えたい

どんな状況にも向き合って
努力を忘れないでほしい。
必ず実を結びますから。

過去は現在に、現在は未来に、
つながっていると感じます。
今は、楽しみながら勉強中です。



1 学生時代からの友人と毎年遠足に行く。「大騒ぎになるので、貸切バスです」。2 「口だけでは無責任」とコツコツ勉強。取得資格も増え続けている。3 ワインの勉強に、フランスのシャトールグランジュのワイナリーを夫婦で訪問。4 「レッスンダイニング」で、越智さんがプロデュースしたワインイベント。5 越智さんの意見が取り入れられた「ひろしま八雲」のランチ「彩り」。女性客のファンが多い。

越智裕子 (おちひろこ) さん

文学部 日本文学科 1983年卒

中学・高校・大学と広島女学院生。大学卒業とほぼ同時に結婚して専業主婦に。子育てを終え、親を看取った後、現在は夫が経営する飲食店グループを主婦目線でサポートする縁の下の力持ち。曰く「今でも私は主婦ですよ」。

撮影場所/レッスンダイニング

主婦って「なんでも屋さん」。
誇るべきスキルだと思っています。

「主婦だから、今の私があるんです」と言うのは越智裕子さん。在学中にお見合いをして、卒業後すぐに結婚。家族の希望もあり、ずっと専業主婦でした。子育てや介護が終わり、自分の時間が持てるようになってから、家業である飲食店のプロデュースを手伝っています。

主に関わっているフレンチの店では、店内のコーディネート、メニューの見直し、盛りつけの工夫などに携わり、売り上げが伸びています。また、和食店ではランチを考案。少量ずついろいろな料理が鮮やかに盛りられ、会話の邪魔にならないような全品を一度に配膳するのが特徴です。女性を中心に好評で、一番人気のメニューになりました。

「主婦ゆえの消費者目線と、裏方の精神そしてさまざまな経験が役立っているんです」と越智さん。PTA活動を通じて身につけた組織のまとめ方。育児・介護体験に基づく気配り。掃除洗濯などのテクニク。ソファの小さな汚れも見逃しません。「主婦って、なんでも屋さんですよ。保育士、教師、調理師、インテリアコーディネーター、介護士…のように、いろいろなことを日々やり続け、やった分だけ積み重なって、今、それらが生き

ています」。

学生の頃の将来像に近いのでしょうか。「当時は、女性は家に入るのが当たり前でした。若いお母さんになりたかっただけなんです(笑)」。22歳で結婚し、嫁・妻・母として家族をサポート。家族が喜んでくれるのをうれしく感じていました。子どもが手を離れると、親の介護が次々と重なりました。「今思えば苦労だったのかもかもしれませんが、不思議なことに遠い昔に学校で教わった聖書の言葉が頭に浮かんできて…。神さまが見てくださっていると思えば、やさしい気持ちになれました」。女学院での学びを力に、一生懸命、誠実に向き合ったことが全て今につながっていると感じるそうです。「人生は予想外の連続ですが、身に起こること全てが未来への布石です。幸せは思いもよらない方法でやってきますよ。夢に直接つながる努力も素晴らしいですが、そうでなくても置かれた環境の中で頑張っしてほしい。そうすれば、きっと神さまからのご褒美がありますよ」。

主婦業で培ったスキルを生かしつつ、近年はフードコーディネーターや焼酎利き酒師の資格を取るなど、さまざまな勉強を重ねています。「今も、とにかく一生懸命ですよ!」

CASE.02

国際教養学科

広島市
東区役所

「夏の夜、祈りと平和の夕べ」 サポート活動

参加した学生たちの声

8月5日に向けて、事前に、東区役所で会議を行い、小中高校生、大学生、先生、区役所の方々と話し合いました。年代の違う方々から、異なる視点でアドバイスをいただき、中高校生から教えられることも多くありました。私は、昨年参加した経験を活かし中学生や高校生たちに手順を説明し、当日、協力しあいながら準備作業を行いました。活動を終えた頃には、達成感で満たされ清々しい気持ちを味わうことができました。また来年も参加したいです。
〈国際教養学科3年 河野 麻衣
(広島文教女子大学附属高等学校出身)〉



①作成した英語/パンフレットを外国人観光客に配布しました ②階段にひまわりを飾りつけました ③飾りつけ用の筒の製作の様子

広島市東区では、毎年8月5日に「夏の夜、祈りと平和の夕べ」という、翌日の平和記念式典の来訪者や観光客をお迎えするための催しが行われます。広島駅北口周辺の7社寺が、朗読劇や和楽器の演奏などの催し物を行うのですが、周辺地域の小中学生・高校生・大学生は、住民の方々と協力し合い会場の飾り付けなどの準備を手伝っています。広島駅を訪れた観光客に催しの案内を配布するのですが、この英語版は、国際教養学部で学生と教員とで作成しました。当日は、案内を配布しながら外国人観光客に英語でのガイドや説明を行い、とても喜ばれました。

地域で協力し行う
海外の人たちへおもてなし

地域に根ざす広島女学院大学

企業や地域との コラボプロジェクト

学生たちが
大活躍!!

広島女学院大学は県内の企業や地域の方々と手を取り、目標に向かってプロジェクトを進めたり、地域を盛り上げる活動を数多く行っています。今回はそれらの活動をレポートします!

生活デザイン
建築学科

広島ドラゴン
フライズ

CASE.01

地域振興デザイン プロジェクト

縫製 ボラン
ティアメン
バーと行った
トートバック
制作の様子



右) チーム関係者3名をお呼びして、グッズのプレゼンを行いました 左) 販売したマフラータオルと



コラボグッズブース。来場者にたくさんアピールしました

スポーツで地域活性
思いが詰まったコラボグッズ

昨年2月、広島ドラゴンフライズからコラボグッズ制作の依頼を受け、生活デザイン・建築学科の学生による地域振興デザインプロジェクトが開始しました。スポーツを通じた地域活性化を目的に計16名のメンバーが集まり、担当者とのミーティングを重ね、現地調査も行いながらデザインを考えました。今年4月のホームゲームで西川潮美さんデザイン「マフラータオル」と、西田紘子さん、渡邊美奈子さん、中島雪映さんデザインの「ハンドメイドデニムトートバッグ」を公式グッズとして、広島サンブラザホールで販売。学生たちも売り場に立ちました。新聞社の取材やテレビ番組での宣伝により、2日間でタオル30本、バッグ5個を完売。学内でも受注販売を行い、タオルの手作りイベントを開催することでドラゴンフライズの認知度をさらに高められたと感じています。来シーズンもコラボが決まり、第2期メンバーが活動を開始しています。

参加した学生たちの声

ただデザインするだけでなく、求められるデザインを考えるのに苦勞をしました。何度もリメイクを出されて、とても大変でしたが、出来上がってお客様が購入してくださった時に、頑張ってたかったなと思いました。
〈生活デザイン・建築学科3年 西川 潮美 (海田高等学校出身)〉

子どもたちの
個性溢れる絵本づくり
町制100周年記念事業を
お手伝い

幼児教育
心理学科

熊野町

CASE.03

熊野町 町制100周年記念 絵本づくりのお手伝い



挿し絵の構図について
アドバイスしました

参加した学生たちの声

子どもたちの想像力の豊かさに驚かされました。個性があふれ、私には思いもつかない、面白くて、夢いっぱいなものばかり。これまで小学生と関わる機会があまりなかったので、今回の活動を通して小学校高学年の発達段階を学ぶことができ、とても貴重な体験になりました。
〈幼児教育心理学科3年 長崎 まりな
(広陵高等学校出身)〉

熊野町は、来年、町制100周年を迎えます。その記念事業の一つとして、町の言い伝えや歴史などを町内の小学生が文章と絵で表した絵本の制作を行っており、現在、学生たちがそのお手伝いをしています。公募で集まった14名の小学生が「くまの絵本作り隊」として、制作活動を進める中、学生たちは、文章執筆や描画の支援を行っています。また、子どもたちの気分転換を図るために、手遊び歌を紹介して一緒に身体を動かしたり、題材探しのための町内探索やお楽しみ会に参加するなど、積極的に関わっています。完成した絵本は、町の公施設(学校、図書館、公民館など)に置かれることになっています。



①これから使うお話づくり(下書き)用のプリントを配布の様子
②子どもたちに手遊び歌を紹介し、一緒に表現しました
③書いたお話のよい表現を指摘しています

プロジェクト参加メンバーのみなさん

ボランティアメンバー

〈 縫製担当 〉
4年/林 穂乃歌 (比治山女子高等学校出身)
櫻木 かほり (三次高等学校出身)
3年/川本 菜由 (山陽学園高等学校出身)
2年/山本 美稀 (進徳女子高等学校出身)
弘下 由菜 (山口県立高森高等学校出身)
山田 桃歌 (松江市立女子高等学校出身)
渡邊 琴美 (美鈴が丘高等学校出身)
須崎 遥 (賀茂高等学校出身)

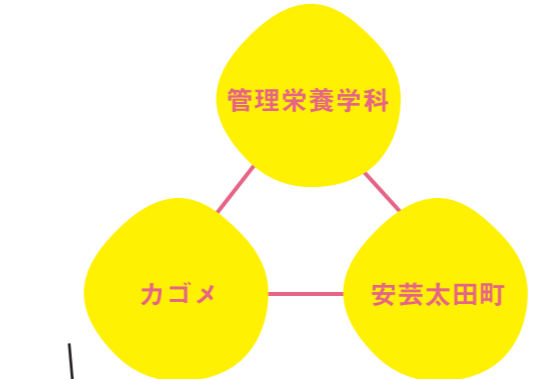
プロジェクトメンバー

〈 学内イベント担当 〉
4年/林 穂乃歌 (比治山女子高等学校出身)
新田 さつき (島根県立浜田高等学校出身)
3年/井川 莉菜 (祇園北高等学校出身)
〈 グッズ企画・提案担当 〉
3年/西川 潮美 (海田高等学校出身)
2年/中島 雪映 (安芸南高等学校出身)
西田 紘子 (安田女子高等学校出身)
須崎 遥 (賀茂高等学校出身)
渡邊 美奈子 (広島工業大学高等学校出身)

〈 広報担当 〉
3年/松田 ゆうか (山陽高等学校出身)
西川 奈生 (山口県立山口中央高等学校出身)
内田 早織 (広島皆美高等学校出身)
檜垣 美々 (海田高等学校出身)
中川 環 (呉青山高等学校出身)
室本 莉奈 (山口県立下松高等学校出身)
竹田 百花 (山陽学園高等学校出身)
山岡 楓 (庄原格致高等学校出身)

学生と企業と地域が
繋がり生まれる
新たな視点の地産メニュー

管理栄養学科では、カゴメ株式会社の商品を使い、安芸太田町産食材の良さを引き出す献立開発を行っています。1年生から3年生でプロジェクトチームを組み、今年で3年目になりました。2015年には、地元の大自然体験会に参加し、子どもたちに向けて「トマトま豚丼」を提案。2016年度に開発したメニューの「いのしし肉のすき焼き煮」「トマトみそ麻婆豆腐」などは、安芸太田



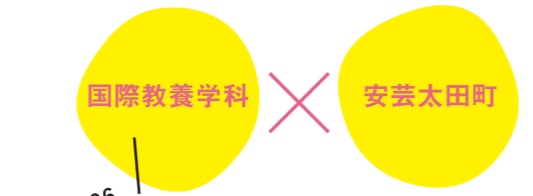
カゴメ株式会社
安芸太田町との産学官連携



①提供いただいたカゴメの商品を確認の様子
②考案したレシピをプレゼンしました ③採用された安芸太田町のイノシシ肉をつかったミラクルボール

町の学校給食にも採用され、地元で育った食材とカゴメのオリジナル商品を使うことで、子どもたちの苦手を献立が、みんなの大好物に変身しました。本プロジェクトの良さは、日々学校で学んでいることを実社会で活かせる点や、学生・企業・地域が連携すると新しい発見が生まれる点だと思えます。今年度は、10月に開催したフードフェスティバルに向け、安芸太田町のイノシシ肉を使ったメニュー開発に取り組みました。考案した中で「ミラクルボール」が採用され、当日の販売も担当、好評をいただきました。

地域に根づく文化から学ぶ
自然との触れあいや人々の思い



CASE.06
殿賀花田植を通じた
伝統文化体験



初めての田植体験。昔の人の苦労を痛感

5月21日、安芸太田町からのお誘いをいただき、国際教養学会の行事として、殿賀花田植に参加しました。快晴の中、13名の学生たちが地元の方々のご指導を得ながら、早乙女の衣装を身に纏って、一緒に田楽を踊り、花田植を行いました。

留学生も参加し、学内では経験することが難しい日本の伝統文化を体験。「土の感触や香り、そよ風を感じ、自然とふれあえた」、「若い世代につなげたいという地域の思いを感じた」、「自分も地域の役に立ちたい」、「地域の活性化のために何が出来るかを考える機会になった」等の声を聞くことができました。今後、地域連携に力を入れていきます。来年度は同町での神楽体験も計画中です。

①踊りの練習中。歌や踊り、衣装は地域により異なります ②地元の皆さんの拍手や応援で自然と笑顔になりました



CASE.05
広島市立
舟入市民病院での
ボランティア活動

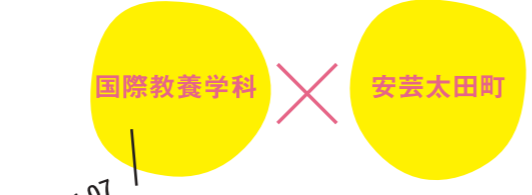
入院中の子どもたちを
保育の面からサポート

広島市立舟入市民病院から小児病棟でのボランティアに協力依頼をいただいたことがきっかけで、幼児教育心理学科では昨年からは病棟で行われる季節の行事に参加しています。舟入病院の小児病棟は感染症による短期入院が主です。病棟には保育士が配置され、回復期にある子どもたちのためのプレイルームも設置されています。現在、ボランティア活動に携わる主要メンバーは6名。活動は、昨年12月のク



①クリスマス会では病棟スタッフとともに劇に参加しました
②七夕会では七夕の由来を壁面で表現しました
③(活動メンバー) 濱尾彩夏(海田高等学校出身)、デソーザナタリア空(安芸高等学校出身)、奥村 隼(五日市高等学校出身)、盛田 菜緒(広島高等学校出身)、南波百香(賀茂北高等学校出身)、藤本 有沙(安芸高等学校出身)

まちに潜むアートな旅
街の魅力を伝える地図を作成



CASE.07
安芸太田町・
加計商店街の活性化支援



街の魅力を盛り込んだ地図

街歩きの様子

国際教養学科では安芸太田町・加計商店街の地域活性化を支援しています。今年度は「アートでGO!まちに潜むアートを探す旅」という、加計商店街の各所に設置されている現代アート作品を参加者が探し歩くというイベントに参りました。学生は当日の運営補助のほか、加計にてデザイン業を営む方のご協力を得て、街の魅力を伝える地図作りに携わりました。

学生からは「アートを探し歩くことで街の新たな魅力に気づけて、とても面白かった。イベントに関わることができてよかったです」という声がありました。今後も加計の魅力を伝えるお手伝いをしていきます。

私たちのアイデアが形に。
地域の食を広げていきたい



CASE.08
地場産物の
摂取拡大に向けた取り組み



「瀬戸内なめこも」を使ったレシピ集

海藻見学会の様子

管理栄養学科では、大崎上島町にある有限会社上島食品からお話をいただき、広島で採れた新種の海藻のPRを目的に、「瀬戸内なめこも」という親しみのあるネーミングを提案したり、オリジナルレシピ40品を考案し、レシピ集としてまとめました。また、考案したレシピから3品を選び、大学祭や地域の農業祭、介護の日フェスタなどで試食してもらい、海藻料理の可能性を伝える取り組みをしています。私達にとって、海藻の育つ過程や生産者の想いを伺うことができたことは、とても貴重な経験です。今後も継続して訪問し、交流を深めていけたらと思います。

【24時間テレビ38】
地球環境保護活動プロジェクト

6月11日に、江田島町串地区で実施しました。今年で6回目となる今回のテーマは「みんなともだち！～生き物の住む美しい自然を守ろう～」。運営メンバー7名は真剣な話し合いと周到な準備を続け、山での間伐作業や生き物が住みやすい川の環境づくりの学習、海辺の生き物の観察などを行いました。参加した小学生58名は、ボランティア学生26名とともに里山保全の大切さを学びました。



キャンパス アルバム

夏に向けて開催したイベントを紹介します。

夏のオープンキャンパス

6月から8月に渡り計5回開催されたオープンキャンパス。各学科の工夫を凝らした様々なプログラムやクラブ紹介のほか、特別イベントとして「Google Womenwill 未来の働き方アカデミー」に参加した学生による「ライフキャリア講座」を行いました。



6月～10月の出来事

- 6/11(日) 24時間テレビ38 地球環境保護活動プロジェクト「みんなともだち！～生き物の住む美しい自然を守ろう～」
- 6/14(水) 自治会主催スポーツ大会
- 6/18(日) 第1回オープンキャンパス
- 7/9(日) 第2回オープンキャンパス
- 7/12(水) 第1回自治会学生大会
- 7/23(日) 第3回オープンキャンパス
- 8/5(土) 第4回オープンキャンパス
- 8/5(土) 第18回キリスト教主義大学
ジョイント8・6平和学習プログラム
7(月)
- 8/6(日) 広島女学院平和祈念式
- 8/27(日) 第5回オープンキャンパス
- 9/20(水) 秋学期オリエンテーション
21(木)
- 9/22(金) 秋学期授業開始
- 9/26(火) 創立131周年記念礼拝
- 10/1(日) 創立記念日
- 10/4(水) 秋季卒業証書・学位記授与式
- 10/16(月) 秋季宗教強調週間(～10/20)
- 10/21(土) 幼児教育心理学科「幼児運動会」

第18回キリスト教主義大学 ジョイント8・6平和学習プログラム

5大学25名の参加者を迎え8/5～8/7に開催しました。開会礼拝から始まり、本学学生による「夏雲」朗読劇の上演、被爆証言講話、平和記念式典やダイ・インへの参加のほか、グループに分かれてのディスカッションやポスターセッションを行い、「小さな祈りの影絵展」や灯籠流しを見学しました。天候にも恵まれ、最終日には各グループによる発表と開会礼拝をもって盛会のうちに終了いたしました。



CASE.11 舟入市民病院の 人間ドック受診者用 メニュー提案

CASE.11

管理栄養学科 × 舟入市民病院

広島市立舟入市民病院の人間ドック受診者用メニューの提案をしています。たとえば、主菜にリブソースを使って満足感を持たせつつ、不足しがちな野菜をしっかりと取り入れてヘルシーなメニューに仕上げました。その他、レディースランチャや原爆ドック受診者用の「つるかめランチ」も考案しています。



CASE.09

管理栄養学科 × ウオクニ

ウオクニ株式会社の 弁当メニューの提案

メニュー：サワラの唐揚げ塩葱ソース、桜色シューマイ・ポイルキャベツ、ブロッコリーの辛子和え、高野豆腐のチゲ煮、糸こんにゃくのチゲチエ、杏仁豆腐、中華ポテト



ウオクニ株式会社とのコラボ弁当メニューの提案を行っています。昨年度は「しっかり食べて肥満予防」をテーマに、「サワラの唐揚げ塩葱ソース」を主菜に、中華風の料理を取り入れた献立が採用されました。今年度は12月頃実施予定です。1000食を超える弁当の献立は見た目や味の工夫が必要で、調理や盛り付けに配慮したメニュー作成の難しさを痛感しました。喫食者の方からは「色合いがきれいだった」「おいしかった」などのご意見をいただき、とてもうれしく思っています。

CASE.12 昆虫を守る 田んぼ作りに関わり ながらの食育活動

CASE.12

管理栄養学科 × NPO法人

昆虫を守る田んぼ作りの活動に参加し、環境に優しい農法によるもち米栽培や、クイズを通じて小学生たちへ食育を行っています。田植えや、鎌を使った稲刈りは大変ですが、子どもたちと一緒に作業を行うことで、米づくりの大変さやありがたさを学んでいます。秋には収穫したもち米を使って、もちつきを開催予定です。食育クイズも人気で、子どもたちが懸命に学ぶ様子がとても励みになっています。



CASE.10

生活デザイン、建築学科 × ダイワハウス

ダイワハウス × 広島女学院大学 住宅コラボプロジェクト

ダイワハウスのインテリアコーディネーターの方からアドバイスをいただき学生たち



建築士課程では「ダイワハウス × 広島女学院大学住宅コラボプロジェクト」が進行中です。住宅の1階をダイワハウス、2階を学生が設計を行い、2棟(2、3年生各1棟)が「西風新都グリーンフォート」の一面で実際に建築、販売される夢のようなプロジェクトです。『住居・建築設計実習Ⅱ、Ⅳ』の各授業で完成させた作品は、学内展で建築士課程教員による一次審査を経て2、3年生各6作品に絞られました。二次審査は、広島市内6ヶ所で行った投票を行い実施作品が決定します。完成は3月末予定。またご報告します。

ただ今進行中

女性向け農作業着 ブランドの新商品開発 プロジェクト

CASE.13

生活デザイン、建築学科 × アトムワークス

生活デザイン・建築学科に所属する学生有志が、作業用品を扱う株式会社アトムワークスと、女性視点のマーケティング支援を行う株式会社ハーストリープラスとともに、女性向け農作業着ブランド「nonoto」の新商品を開発し、実用化を目指すプロジェクトを開始しました。現在は、既存の商品をベースに、形・色・機能・テキスタイル等を自由にデザインした単品アイテムを提案し、トータルコーディネートのできる新商品の企画を進めています。



芸術文化フィールドワーク

国際教養学科3年 中村 梨紗 (山口県聖光高等学校出身)

この経験が将来の糧になる。本物を目で見て触れた13日間。9月4日から16日までの13日間、2〜4年生の学生10名が参加する近畿地方(伊勢、熊野、高野山、明日香、奈良、京都)の芸術文化フィールドワークに参加しました。



高野山金剛峰寺で集合写真



高野山報恩院 画家の手紙の調査

東大寺東塔院跡の発掘現場の見学

研究は貴重な体験でした。捜索や掛け軸について伺い、間近に観察し、実測や撮影もしました。奈良では専門家の案内で遺跡の発掘現場も見学し、本物に触れるフィールドワークならではの時間を味わいました。

近畿地方に絞ったフィールドワークだからこそ、狭く深く、各目的地で濃い学びを得ることができました。現地に赴き、視野を広げることは、今後、社会に出ていく上で必要な力につながるといえます。日本の歴史や文化について見つめ直し、自主性を育むことのできた13日間になりました。

アジア・アフリカフィールドワーク

国際教養学科4年 古家 愛三 (福岡県立光陵高等学校出身)

国際教養学科3年 横山 なぎさ (安芸南高等学校出身)

「当たり前ではない」と気づかされた貴重なアフリカ体験

今年の夏、アジア・アフリカフィールドワークに参加し、アフリカのザンビア共和国へ行ってきました。8月26日に日本を発ち、翌日ザンビアに到着した私たち学生6名は、初めて立つアフリカの地に期待と興奮で胸がいっぱいになりました。

大切さや、日本のやり方をそのまま押し付けるのではなく、その国の方針や習慣を尊重することが、信頼関係を築き、事業を成功させるために重要であると学びました。



ルシトという村でのごはん



村での集合写真



ザンビア大学の学生との交流

私たちのキャンパスライフ

今回は国際教養学科の授業で行われたフィールドワークをご紹介します!

JOGAKUIN LETTER

女学院だより



2017年度秋学期交換留学生在が到着しました

提携校からの交換留学生2名を秋学期から迎えました。国際教養学部で日本語と日本文化を1年間学びます。多くの友達に出会い、学べる、充実した留学となるよう応援します。

2017年秋学期交換留学生
レン・セイブン 練 青雲さん (中国/廈門理工学院)
ハンター・スミス Hunter Smithさん (アメリカ/テネシー大学マーティン校)



4名の学生がゲース学術奨励賞を受賞しました

ゲース学術奨励賞は、校母ゲース先生の遺徳を偲び制定された賞で、今年は9月26日の創立記念礼拝の中で授与式が行われました。4年生の中で、建学の精神をよく理解・体得し、学生の本分である学術研究に精励して、学生の模範となっている学生に各学科ごと1名ずつ授与します。今年度の受賞者は次の4名です。

- 国際教養学部 国際教養学科 井口 優香(舟入高等学校出身)
- 人間生活学部 生活デザイン・建築学科 新田 さつき(島根県立浜田高等学校出身)
- 管理栄養学科 中丸 仁美(世羅高等学校出身)
- 幼児教育心理学科 山田 絵美佳(広島女学院高等学校出身)

聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生が105歳の天寿を全うされました。日野原先生は、お父様である日野原善輔先生が本学院校長、院長、理事長を務めていらしたご縁で、2008年4月から2013年3月まで本学客員教授を、その後2013年5月からは学院の最高顧問をお引き受けくださっていました。謹んで哀悼の意を表します。

Global Village Field Experience

国際教養学科1年 森下 空青羽 (舟入高等学校出身)

異文化コミュニケーションで新しい自分を発見!

異文化コミュニケーションで新しい自分を発見! GSEメジャーを選択している私たちは、この夏、約2週間ベトナムに滞在しました。研修では、現地の学生やNPOの方々との人へインタビューをし、集めた情報を元にプレゼンテーションを行って、ベトナムを発展させるためのプロジェクトを考えました。

私たちのグループは「綺麗な飲み水の質と量」がテーマだったので、現地在住の日本人女性からお話を伺い、雨水を浄化するシステムというプロジェクトにしました。進めていく中で、その女性が家庭内の生活排水を浄化してから使っていること、日本から自転車を寄付する活動を行っていることを聞き、その

行動的な姿に感銘を受けました。今回のフィールドワークで、現地の人たちの温かさや町への誇りを感じ、普通の旅行では決して知り得ないことを知ることができました。

私は人とコミュニケーションを取るのが苦手で、グループで取り組んだり、初めての人と話すことに不安がありました。活動するうちに英語で話す楽しさやチームワークの大切さなどを学ぶことができました。この充実した2週間は、異文化理解を深め、他の国について知る良い機会だったと思っています。

現地の海で。悟ってます(笑)



グループワーク。現地の方にインタビューしマップを描いていただきました。



ホーチミンでの夕食の様子



プレゼンテーションの様子

なるほど就活

キャリア
センターに
聞く

目標が定まっている人もそうでない人も、
自らが動くことで見えてくるビジョンがきっとあるはず。
さあ、新しい世界へ向かって一歩踏み出してみましょう！



キャリアセンターでは、毎年冬に「内定者報告会」を開催しています。就職先の内定を得た4年生から1～3年生の後輩たちへ、具体的なアドバイスから心構えまで多岐に渡る報告がなされます。

就職活動解禁前しておくこと、企業の見つけ方、就職活動が始まってからの動き方、実際に出席された試験の内容、選考対策、そして色々な失敗談や悩んだことなど、ネットや本では知りえない話には現実味と緊張感があります。内定者が持参した就活ノート等を目にする、参加者はこれからの活動にスイッチが入るようです。

昨年度も具体的に説得力ある話に熱心に質問しメモを取っていました。参加した学生からは、「就職活動のイメージが持てた」、「何から取り掛かったら良いのか不安だったが、調べたり考えたり、いろいろ相談しながら進んでいこうと思った」、「就職活動は3月1日から始まると思っていたが、もっと前から準備が必要だと分かった」、「先輩がすごく大人に感じた。自分も4年生の秋学期にはこんな姿になりたい」といった声が聞かれました。

今年度は、12月20日に一般企業就職の内定者報告会を、2018年1月24日に幼稚園・保育園・小学校就職の内定者報告会を、それぞれ行います。



information

内定者報告会

先輩たちの話や
アドバイスを聞いて
就職活動のイメージを形に！

就職活動は早めの準備が肝心!! 1年生から3年生まで、先輩の生の声が聞けるこの機会にぜひ参加しましょう。

内定先／株式会社明治

「成功の鍵は早めの自己分析」

管理栄養学科 4年

水島 万里菜 (美鈴が丘高等学校出身)



私は3年生の11月から就職活動の準備を始め、4年生の7月頃に内定をいただきました。当初から食品企業で働きたいという想いが強く、合同説明会や会社説明会は食品企業を中心に回り、どんな仕事がしたいのか、将来どんな自分になりたいのかを考えながら就職活動を行いました。自分に合った企業を探すために、東京や大阪に行くこともありましたが、面接ではなかなか自分の想いを伝えることができず苦戦しましたが、回を重ねることで上手く伝えられるようになりました。

就職活動をして感じたことは、「自己分析を早めに行うことがとても重要」だということです。特に管理栄養学科は就職活動中に授業や病院実習、国家試験対策など忙しいため、余裕を持って自己分析や業界研究、企業研究を行うと良いと思います。就職活動ではうまくいかない事もあると思いますが、希望の職に就けるようあきらめず頑張ってください。

job
hunting

就職活動終了生



東京の合同説明会では、この地図を片手に様々な企業ブースをまわりました。

内定先／株式会社マイナビ

「悩むより動いてみよう！」

国際教養学科 4年

関永 美和 (海田高等学校出身)

job
hunting

就職活動終了生



私は3年生の夏休みに参加したインターンシップがきっかけで、「女性が家庭と仕事を両立しイキイキと働く姿」に憧れを持ち始め、自分も「プライベートと両立でき、仕事のやりがいがある企業」に就職したいと考えようになりました。

私は、好みがあはつきりしており、追いつかれないとできない性格です。そのため、就職活動では常に一歩先を行き、キャリア支援課の方や友人に話を聞いてもらい、ストレスを溜め込まないように気をつけていました。実は、初めて来た「お祈りメー



スマホは就活の必須アイテム。社長の名前や地図などを事前にチェックして訪問していました。

ル(不採用通知)が第一志望の企業という絶望的な経験もありました。しかし、その出来事があったからこそメンタルが強くなり、最終的には就職活動を乗り切ることができました。

振り返ると、「とりあえずやってみるか」という気持ちで私の原動力でした。初めて就職活動を経験してみると、「やってみないと分からない事が多く、でも、やると意外と簡単」と感じることも多かったのです。前向きになれるという人は「とりあえずやってみよう」という軽い気持ちで一度行動してみてください！

海外旅行〈留学のすすめ〉

国際教養学部国際教養学科 戸田 慧

大学時代、ドイツで発掘旅行



ニューヨークの自由の女神の前で。

大学時代は実家が遠かったこともあり、アルバイトもせず、サークルにも入らず、ひたすら大好きなイギリスやアメリカの小説を読み、考え、発表できる大学の授業があれば、それで十分という気持ちでした。しかし、夏休みを前にして、基礎英語を担当していたネイティブの先生が「ドイツで2週間、古い教会の発掘の手伝いができるよ」と授業中に



ニューヨークのタイムズ・スクエアにて。ブロードウェイの舞台を鑑賞。

広島女学院大学での語学研修引率

もう一つのきっかけは広島女学院大学に勤め始めてすぐ、「海外英語研修」という1カ月の短期留学のため、8人の学生をアメリカに引率したときのことです。参加者のうち、英語は本当に苦手、でも海外に行き

「海外留学したいです！」オープンキャンパスで高校生とおしゃべりしていると、二人に一人はそう答えてくれます。しかし、大学2年生に「海外英語研修に行きたい人！」と問いかけると、なんと数人しか手を挙げないことがほとんどです。実を言うと、今ではアメリカ文化と文化を教えている私自身、大学生のときには留学をしませんでした。理由は「なんか怖いし、難しそう」だったからです。しかし、こんなアンチ留学派(?)だった私ですが、今では完璧に留学推奨派に。そのきっかけは大学時代のドイツ旅行と、広島女学院大学での引率でした。

発表しました。ドイツ語はもちろんできず、英語も中学生英語に毛が生えた程度だったのですが、勇気を出して参加してみることが初めてだった私は、ガチガチに緊張して立ちましたが、実際に空港へ行ってみると、看板や電子掲示板を読むか、空港スタッフに尋ねれば、たいいていことはわかると知りました。さらに、発掘現場ではドイツだけでなく、チェコやポルトガルなどさまざまな国から来た学生やボランティアの人々と毎日穴を掘り、ランチを食べ、好きな映画や、それぞれの国のことを紹介し合いました。お互いに英語はたどたどしいものでしたが、とにかく英語さえ話せれば、誰でもおしゃべりをして仲良くなれると実感しました。



研修中に訪れた私の誕生日。学生みんなで見守ってくれました。

たい!という学生が一人いました。研修までの半年、私と何度も個人レッスンを行いましたが、なかなか他の学生と同じレベルになることは難しそうに思えました。

しかし、実際に研修に行ってみると、彼女は他の誰よりも陽気な、前向きに、積極的にアメリカの人々と関わり、バレーボールのイベントで大活躍したり、道に迷ったところを通行人に助けを求めてホストファミリーの家までたどり着いたり、非常に有意義に過ごしていました。この引率の中で、海外留学をするにはもちろん英語力は必要だけれど、それ以上に、「いろんなことを経験したい、楽しみたい」という気持ちの方がより力になるのだと痛感しました。

もしかつての私のように「留学なんて難しそう」と思う方がいたら、ほんの数日でも、1週間でもいいので、ぜひ海外旅行をしてみたいと思います。そして、もし留学に少しでも関心がある人は、ぜひ短期でも長期でもよいので、留学をしてみたいことをおすすすめします。きっと想像以上の自分に会えるはずですよ!

profile



国際教養学部国際教養学科 英米文化メジャー
戸田 慧

- ・研究領域 アメリカ文学・文化
- ・担当科目 アメリカ文学史、アメリカの文化と歴史、海外英語研修など
- ・趣味 映画鑑賞(ファンタジー、SF、アニメ)、読書(ミステリー、ファンタジー、漫画)

戸田先生 おすすめ

学生時代に読んでほしい本&DVD

『ティファニーで朝食を』
トルーマン・カポーティ/著
(村上春樹訳) 新潮社

おしゃべりで奔放で軽薄で美しい娘ホリー・ゴライトリーの物語。オードリー・ヘップバーン主演の映画版も必見!ぜひ映画を見て、本を読み、舞台となったニューヨークを旅してみてください。

Vege-full menu

vol. 10

忘れないでほしい!

食卓から発信する被災地応援メニュー

被災地を忘れないでほしいという思いから、あぶら麩(宮城)、なすやトマトなどの野菜(熊本)、広島菜漬(広島)を使用した応援メニューを考えました。

被災地を応援しよう!メニュー

- ・ごはん 広島菜漬
- ・ポークカツ トマトソースかけ
- ・あぶら麩となすの煮物
- ・味噌汁
- ・ヨーグルト
- ・乾パン



災害時の備えとして長期保存ができる乾パンを取り入れました。硬くてバクバクの乾パンもヨーグルトと一緒に美味しく食べやすくなるよう工夫をしました。

非常時に
おすすすめ!
ポリ袋調理!



東北を食べ応援しよう! 牛田商店街での取り組みをアイリスキッチンで受け継ぎ、毎日11日にあぶら麩丼を提供します。

被災地を応援しよう!災害に備えよう!

**非常時の
おススメ調理は?**

ポリ袋で温かい食事を作る方法があります。食材が限られる非常時に誰でも簡単に調理ができた、野菜が摂取できる方法はないかと考えるようになり、「ごはんや蒸しパンなどの「ポリ袋調理」にたどり着きました。本学のホームページにレシピを掲載していますのでチェックしてください。

**日頃から
どう備える?**

非常時のための「備蓄」ではなく、日頃から利用できる長期保存が可能な食品を買い置いて「常備」し、活用しながら使った分だけ買い足す、「ローリングストック」がお勧めです。いざという時に普段の食品を食べることができると心もほっとします。

**災害が起こると
どうなるの?**

大規模な災害の場合、水、電気、ガスなどのライフラインが途絶えます。道路が遮断されると食料品の入手が困難になり、手元にある食品で生活をしなければなりません。限られた食料で食事を作る知識は強い味方になります。

**献立に
込めた思いは?**

各被災地の復旧・復興作業が進み、私たちが震災当時の記憶は過去のものになりつつありますが、被災者の方々の心労は今も続いています。震災の記憶を風化させないためにも、「食卓から応援メッセージ」を発信してほしい」という思いから昨年考案した「あぶら麩丼(187号掲載)」など、被災地産食品を積極的に消費する献立を作成しました。災害から自身や家族を守るために、過去の教訓を日々の生活に活かしてほしいと思います。

Recipe

あぶら麩となすの煮物(1人分)

- 材料**
- ・なす...50g
 - ・あぶら麩...10g
 - ・絹さや...3g
 - ★薄口醤油...4g
 - ★砂糖...2g
 - ★出汁...20g

- 作り方**
- 1 なすを乱切りにし、水にさらす。あぶら麩は1cmの厚さに輪切りにする。
 - 2 鍋に調味料(★)を加えて煮立たせ、1を加えて更に煮る。
 - 3 器に盛り、茹でた絹さやを添える。



Pick Up

非常時も安心。備えておきたい食品



水は1人1日あたり3ℓ、食料は最低3日分の備蓄が必要だと言われています。写真にあるような食品は、備えておいてほしいと思います。乾パンなどの「エネルギー補給の食事」ではなく、乾物や野菜の缶詰、ドライフルーツなどを備蓄しておく、非常時であっても心も体も満足できると思います。家では乾物を食べないという人も、この機会に日常の食事に取り入れてははいかがでしょうか。

ON THE COVER 今月の表紙

第 68 期あやめ祭実行委員会



■委員長：幼児教育心理学科 3 年 / 日野 里咲 (安佐北高等学校出身)
 ■副委員長：管理栄養学科 3 年 / 八城 仁美 (広島三育学院高等学校出身) ■会計：国際教養学科 3 年 / 権藤 みなみ (廿日市高等学校出身)
 ■渉外：幼児教育心理学科 3 年 / 佐藤 愛美 (三次高等学校出身)

第 68 回あやめ祭は 11 月 18 日(土)、19 日(日)に行います。今年のテーマは「笑」。目玉企画として、ビンゴ大会やファッションショー、俳優の千葉雄大さんをゲストにお迎えしてのトークショーを行います。また、新たに広島ホームテレビさんのテレビ番組『恋とか愛とか(仮)』とのコラボ企画があります。今年のテーマどおり、皆様笑顔になるような企画を用意しているので、ぜひご来場ください。

編集後記

すっかり秋めいて来ましたね。今号は久々に企業や地域との連携企画をご紹介しましたが、これもっと頻繁に特集してもよいくらい、活発に活動しているのです。一つ一つしっかり紹介したいけど、紙面の都合、これが限界でした。本当に残念です。学生の皆さんの活躍ぶりは大学のホームページなどでどんどん紹介しているの、是非ご覧ください。

お知らせ

学生課では学生向け情報を twitter で発信してま〜す。フォローよろしくお祈いします。
@HJU_gakusei

キャンパスリポーター募集

私たちと一緒に『Campus News』を作ませんか？



管理栄養学科 3 年 船木 奈々果 (広島女学院高等学校出身)

『Campus News』の制作のお手伝いをしてくださるキャンパスリポーターを募集しています！広島女学院大学はどんな大学なのか、どんな人がいるのか一緒に探ってみませんか？

活動内容は、教職員や学生への取材、写真撮影など。見たことや聞いたこと、体験したことを記事にして記者気分も味わえますよ。学生時代の貴重な体験、思い出になること間違いなし！学部や学科は問いません。少しでも興味があれば下記問い合わせ先までご連絡ください。また、「紙面に登場したい！私を取材して欲しい！」なんて方も同時に募集中です。

問い合わせ先 / 総合学生支援センター学生課
 TEL : 082-228-0407
 学生課アドレス : gakusei@gaines.hju.ac.jp

キャンパスカレンダー

Campus Calendar

- 11 月** 10(金)~17(金) 履修登録科目取消期間(17日 12時締切)
 18(土)~19(日) あやめ祭
 ※17(金)午後と 20(月)午前は臨時休校
 27(月) クリスマス・ツリー点火音楽礼拝(17時)
- 12 月** 1(金) 卒論提出締切(12時) ※栄養
 4(月)~8(金) 大学人権週間
 5(火) 人権特別授業(5・6限)
 11(月) 博論提出締切(17時) ※大学院(言語)
 17(日) クリスマス・オープンキャンパス
 20(水) 卒論提出締切(12時) ※国際
 21(木) 卒論提出締切(12時) ※幼心
 23(土・祝) クリスマスコンサート「メサイア」(中高ゲーンホール)
 25(月) クリスマス・冬期休業(~1/7)
 26(火) 卒論提出締切(12時) ※生活
- 1 月** 6(土) 土曜日授業実施
 9(火) 授業開始
 10(水) 修論提出締切(17時) ※大学院(言語)

- 12(金) 臨時休校日(10/9 代替) ※学生完全登校不可
 13(土)~14(日) 大学入試センター試験 ※学生完全登校不可
 23(火)・24(水) 補講日
 29(月) 入試臨時休業 ※29日午後~2/2 学生完全登校不可
 30(火)~31(水) 入試(一般前期日程) ※学生完全登校不可
- 2 月** 2(金) 入試(一般前期日程) ※学生完全登校不可
 5(月)~10(土) 補講期間
 10(土) 秋学期授業終了
 13(火) 修論提出締切(17時) ※大学院(人間)
 17(土) (卒業学年)不合格者・再試対象者発表(10時)
 再試手続き期間(20日 12時締切)
 21(水)~22(木) 再(卒)試験
- 3 月** 1(木) 卒業認定者公示(16時)
 10(土) 教免・学芸員・日本語教員実習許可者発表(10時)
 14(水) 卒業礼拝/卒業証書・学位記授与式リハーサル/
 アルバム写真撮影/ゲーンホール前礼拝
 15(木) 学位記授与式(大学院 10時 30分) /
 卒業証書・学位記授与式(13時 30分)
 16(金) 春季休業(~3/31)
 21(水・祝) 春のオープンキャンパス

